

YUHO 有朋

University of Marketing and Distribution Sciences

No.29

有朋会

2022.12

流通科学大学
同窓会報

CONTENTS

- 有朋会設立30周年
- 同窓生インタビュー
- 中内功さん生誕100年記念
- 同窓生 at 日新信用金庫
- ホームカミングデー開催
- RYUKAニュース2022
- 個別同窓会援助制度
- 有朋会ニュース
同窓会ニュース／イベントニュース
- 支部紹介／報告
- 事務局からのお知らせ

幅広い年代の卒業生が
有朋会を通じてネットワークを築き、交流し、
発展し続けることを祈念しています。

有朋会設立30周年、誠におめでとうございます。流通科学大学は、1988年4月の開学以来、今年で35年目を迎え、すでに25,000人を超える卒業生を社会に送り出してきました。有朋会に集う卒業生の皆さまが社会の様々な分野で活躍されていることを心より嬉しく思います。

現在、流通科学大学は、商学部、経済学部、人間社会学部の3学部の下に合わせて7学科を置く大学になっています。留学生も多く、中国、ベトナムをはじめ、インドネシア、バングラデシュなど、世界のおよそ20の国・地域の学生が学ぶ大学になりました。

卒業生の皆さまには、新入生に向けてご自身が社会で活躍される姿を紹介していただく講義をはじめ、特別講師として様々な機会にご講義をいただくとともに、就職支援、在学生支援など数多くのご支援、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

これからも、幅広い年代の卒業生が有朋会を通じてネットワークを築き、交流し、発展し続けていただくとともに、母校である流通科学大学と、後に続く在学生のために、教育、就職、学生支援と、様々な分野でのご協力をお願い申し上げます。

今後の有朋会の末永いご発展と、卒業生の皆さまのますますのご活躍を祈念いたします。

この度、有朋会は設立30周年を迎えました。これまで有朋会に携わってくださった全ての同窓生と大学教職員の皆さまに深く感謝申し上げます。

有朋会の始まりは、1992年3月に卒業した第1期生が「世代を超えて同窓生が集まる場を作ろう」と発起したことでした。私自身、当時はまだ大学1回生で、正直、その価値が解りませんでした。30年経った今は感謝しかありません。

同窓生は25,000人を超え、20代から50、60代まで幅広く、日本だけに限らず、中国や韓国、東南アジア、アメリカ、ヨーロッパにも広がっています。そして、さまざまなフィールドで活躍する同窓生がいます。

「有朋会」とは、その違いを超えて「共通の母校」を持つ者同士として、フラットに出会って語り合えることに良さがありません。

事実、学生時代には面識もなかった同窓生同士が、卒業後に出会って意気投合し、お互いの仕事やプライベートを充実させる関係を築くことも少なくありません。

50周年、100周年を迎えるときにはその価値はさらに高まるでしょう。そのために、これからも積極的に同窓生が集まる場をご用意します。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

有朋会設立30周年を迎えて――
これからも「世代を超えて同窓生が集まる場」を
作り続けます。

30th ANNI VERSARY

有朋会 は設立 30周年を 迎えました。

流通科学大学の同窓会「有朋会（ゆうほうかい）」は2022年の今年、設立30周年を迎えました。これか

らもよろしく願いいたします！

流通科学大学 学長
藤井 啓吾

有朋会 会長
岡本 一展
(1995年3月卒)



2022 キャンパス全景



2007 講義棟Ⅵ竣工



2001 キャンパス全景



1997 中内記念館竣工



1988 キャンパス全景(開学当初)

2015
商学部経営学科、マーケティング学科開設
(商学部商学科を改組)
経済学部経済学科、経済情報学科開設
(総合政策学部 総合政策学科を改組)
人間社会学部人間社会学科、観光学科、
人間健康学科開設
(サービス産業学部観光学科、
サービスマネジメント学科を改組)

2011
商学部商学科開設
(商学部流通学科、経営学科、ファイナンス学科を改組)
総合政策学部総合政策学科開設
(情報学部経済情報学科、経営情報学科を改組)
サービス産業学部観光学科、
サービスマネジメント学科開設
(サービス産業学部観光・生活文化事業学科、
医療福祉サービス学科を改組)



2006 アスレチック棟竣工



2001 講義棟Ⅴ竣工

2001
サービス産業学部
(観光・生活文化事業学科/
医療福祉サービス学科)開設

1998
大学院(流通科学研究科
博士課程)開設



1994 講義棟Ⅲ・Ⅳ竣工



1992 講義棟Ⅱ竣工

1996
大学院開設
(流通科学研究科
修士課程)

1994
商学部新学科開設
(ファイナンス学科/
サービス産業学科)

1992
情報学部開設
(経済情報学科/
経営情報学科)

1988
流通科学大学開学
商学部開設
(流通学科/経営学科)

2022
有朋会設立
30周年

YUHO'S HIS TORY

大学設立と有朋会のあゆみ

2020

2012
有朋会設立
20周年

2010

2002
有朋会設立
10周年

2000

1990

30周年記念
ロゴマークが決定!



2011.6 神戸支部設立



2011.6 大阪支部設立



2004.7 大韓民国支部設立



2002.10 中華人民共和国(上海)支部設立



1998.10 九州支部設立



1992.3 第1期卒業式
大学同窓会「有朋会」発足



2019.6 中華人民共和国(大連)支部設立



2016.12 ベトナム支部設立



2010.11 有朋会主催
ソフトボール大会開催



2006.12 中四国支部設立



2001.9 台湾支部設立



1997.9 中部支部設立



1995.4 東日本支部設立

2019.8 第14回ホームカミングデー



2011・2012・2013 バス旅行



2007.8 第2回ホームカミングデー



2001.3 有朋会設立10周年記念交流会



1996.9 有朋会設立5周年記念交流会



Information

有朋会の由来

有朋会の名称は故中内
功理事長が流通科学大
学の定礎に刻まれた論
語の一節「有朋自遠方
来、不亦乐乎」より命名
されました。





「70という大学ができるらしいよ。よかつたら受けてみたら？」と父親が流科大のパンフレットを持って帰ってきて。商学部を志望していましたので、できたばかりの流科大を受験して進学しました。

1期生ですからいまほどキャンパスも充実しておらず先輩もいませんでしたが、みんなそれをわかって入学してきたので、のびのびやっていますね。学生の人数も少なく400名ほどでした。中にはいろんな人生経験を積んできたんだろうなというかなり年上の同期生もいて、高校時代とは違った大学の雰囲気を感じましたね。

当時はキャンパスにコンビニがあることも話題になっていましたが、レストラン2階にあったダイナーでは、夕方からお酒が飲

めたので、バイトのない日はよくそこで友達と過ごしていた思い出があります。

入学してすぐに学園祭をやりたいため、という話になり、学園祭の立ち上げを仲間たちと一緒にやっています。僕は最初の方だけでしたが（笑）。学生時代に力を入れていたのは、音楽ですね。僕はギターをやっていた、学内の軽音楽部以外にも他大学に通っていた高校の先輩のバンドに加入したり、大阪でも別のバンドを組んで、時間がある限りバンドばかりやっています。

ゼミは吉田順二ゼミでした。どの会社か面白いことをしていると、実際に企業で働く方のお話を聴いたりとか、アイデアを提案したりとか実際の企業活動のリアルを感じるような内容で、みんな興味を持って

Feelings & Challenge

岩崎 健治さん
30年の歴史を重ねてきた有朋会。同窓生がお互いを認め合いながら交流の場としてこれからも続くように

Profile

1992年3月 商学部流通学科卒 吉田順一ゼミ
有朋会初代会長(1992年~2013年)
株式会社電通 新聞局 出版・映画・コンテンツ事業部長

授業を受けていましたね。マーケティングに関心を抱かせてくれた吉田先生のお話は、いまの仕事に結びついているのではないかと思います。吉田先生は流科大の後に他大学でも教鞭を執っていたんですけれど、2018年に大学教授を退官されるときに歴代のゼミ生に声を掛けて、久しぶりにみんなで集まりました。

当時、理事長だった中内功さんをよくキャンパスで見かけました。たまたまレストランで声を掛けられ一緒にご飯を食べたりもしました。テーブルを囲んで他愛のない世間話だったり、自宅にハガキで送られてきていた「From Riiicho」

は取り組むのが遅く割とギリギリで、就職部の方々にも心配されていましたね（笑）。入社直後は関西で新聞の部署に配属され、その後営業を経て再び新聞の担当になり、現在は東京の本社で出版社や映画配給会社さんの広告をメディアに掲載するお手伝いをさせていただいています。マーケティングやブランディングなどを経て決定したプランに沿って、メディアの枠を押さえたり実施したりする実施部隊という感じです。時にはクライアント様のところへ出向いてプランの提案もしています。

就職してから現在までを振り返ると、メディアそのものの意味合いが変わってきてい

なってきたように感じています。

同窓会は卒業の半年くらい前、就職先が決まった頃に、「同窓会がないんだけどつくってくれる？」と大学の方から話があり、それで仲間たちと一緒に同窓会である有朋会を立ち上げました。発足を自分たちの卒業式の日にして、卒業式終了後に総会を開いて。そこで会長に就任し、2013年まで運営のお手伝いをさせていただきました。

でも僕自身、大したことはできていないんですよ。何がやれたかというより、なんとかつないでいただけだと思います。活動の中で、年に1~2回イベントを開催したりもしていましたが、顔を出してくれたり、参加してくれた同窓生から「こういうのをやってくれるのはありがたい」と言ってもらえたりすると、とにかく続けてきて良かったなと思います。

大学で学んだマーケティングを羅針盤に メディアの意味を考えながら走り続けて

についての話などをしていましたね。

僕たちは1期生だったので、学園祭の立ち上げもそうでしたが、卒業アルバムをつくりましようとか、卒業の時にパーティをやりませんか、という話も出てきて、大学の方へいろいろな提案をしていくのですけれど、職員の方々はダメとは言わず「やってみようか」といつも受け入れていただきましたね。企画ができたなら中内功理事長にプレゼンもしました。「やりたいです！」と想いを伝える、という感じで。いま思うと下手なプレゼンだったんですけど（笑）。そんななかでできないような経験をさせてもらえたことも感謝しています。

卒業後は電通へ入社しました。就職活動

るので、それを走りながら考えて仕事をしてきたのかなと思いますね。入社間もない頃はメディアが世の中で注目をしてもらっていたのですが、インターネットでも発信できる時代になり、マス媒体といわれるテレビや新聞ではなくSNSやYouTubeなどが出てきて、ただ観るだけでなくそれに対してアクションできるようなになり、もたすごく距離が縮まってきました。以前は観てもらおうと興味を持ってもらうと買っていくつもりというプロセスを踏んでいたのですが、短縮化され合理化されてワンクリックで何でも買えるようになりましたよね。その中でメディアが何をやるのか、何をやるべきなのかということが難しく

なってきたように感じています。

同窓会は卒業の半年くらい前、就職先が決まった頃に、「同窓会がないんだけどつくってくれる？」と大学の方から話があり、それで仲間たちと一緒に同窓会である有朋会を立ち上げました。発足を自分たちの卒業式の日にして、卒業式終了後に総会を開いて。そこで会長に就任し、2013年まで運営のお手伝いをさせていただきました。

でも僕自身、大したことはできていないんですよ。何がやれたかというより、なんとかつないでいただけだと思います。活動の中で、年に1~2回イベントを開催したりもしていましたが、顔を出してくれたり、参加してくれた同窓生から「こういうのをやってくれるのはありがたい」と言ってもらえたりすると、とにかく続けてきて良かったなと思います。

有朋会は今年、設立30周年を迎えましたが、これからも同窓生がお互いを認め合いながら、物理的な場だけでなく心理的にも仲良く帰れる場、交流の場として続いていけばいいな。そして、同窓生のみならずメンバーをサポートしてもらえたらと思います。いつもいつもは難しいかもしれませんが、機会があれば行事などにも参加していただいで、ぜひ有朋会を盛り上げていただきたいですね。





自宅から通える大学の中で、当時、新しい大学として脚光を浴びていた流通科学大学を選びました。地元の神戸はダイエーと深い歴史があったこともあり、中内功さんがつくられた大学ということで、行ってみたいと思いましたね。

3期生なので、入学した頃はまだ大学ができて3年目で、キャンパスも新しくかったです。なかでもレストランがとても充実していて、よく地域の方もレストランで食事をされていました。当時、レストラン2階にあったダイナーでは、夕方からお酒が飲めたことも、とても印象に残っています。また、事務所の職員も個性的な方々が多く、学生にざくばらんに接してくれていました。在学中にいろんな交流をさせてもらっ

たことも、楽しかった思い出ですね。カリキュラムでは、語学に中国語があったのが印象的です。当時、中内功さんは「これからの時代は中国語が必要になる」とおっしゃっていたと記憶しています。また、マーケティングが学べるということで、教授陣も専門性の高い方が揃っていたと思います。私も営業を30年ほどやっていますが、学生時代に学んだマーケティングの知識が役に立っているかなと感じますね。

学校へは比較的良好に感じていましたよ。サークルなどには入っていませんでしたが、レストラン2階のダイナーが仲間と集まる集合場所、よくそこで過ごしましたね。ゼミは濱本隆弘ゼミで、年代が近い先生だったこともあり、学生目線で接してくだ

Feelings & Challenge

西本 賀則さん
 有朋会と出会えた人たちと楽しい!そんな人達と出会えた有朋会。これまでこれからも繋がりを大切にいろんなシーンを分かち合える場所であり続けてほしい

Profile
 1994年3月 商学部経営学科卒 濱本隆弘ゼミ
 有朋会副会長(1997年~2013年)
 株式会社伊藤園 関西営業推進部 部長

さつていて、すごく距離感が近いゼミだったなと思います。専門は経営組織論だったと思うんですけど、そこはあまり覚えていませんね(笑)。

中内功さんとの思い出は、在学中よりも卒業してからの方が印象深いですね。卒業後は同窓会の有朋会の副会長をしていたこともあって、1999年に、中内さんの喜寿のお祝いが開催されたときには、ダイエーホークスの法被を着て司会をさせていただきました。そのときに一緒に撮った写真はとても思い出深いですね。また、私が勤めている伊藤園のドリンクは烏龍茶の製造から始まっているのですが、うちの会社のこ

に立ちたいという思いで、必ずや復興に繋がると信じ、真面目に必死に働きましたね。振り返ると、そのときは仕事やその後の人生で原点になったと思います。

卒業、就職を経て、何か足跡を残したいという思い、そして、この新しい大学に愛校心を育む場を自分たちがつくっていくんだ、そんな思いがありました。有朋会はそのような思いを持つ仲間たちが、卒業してもみんなが集まれる場として、会えるのが楽しくもあり参加していたと思います。会議で話し合う時間もありませんでしたが、その後の飲み会が楽しかったですね(笑)。年々そういう輪が広がっていき、有朋会で出会う

に、僕も副会長を辞したんですよ。現在は、次の世代が思うように運営すれば良いと考えて、できるだけ口を出さずに見守ることを心がけています。いま最前線で有朋会の活動をされている方々のサポートをするのが、僕たち世代の役目だと思っています。

有朋会も時代の流れに合わせて、どんどん変わっていかれば良いと思います。しかし、中内功さんがこの大学をつくったことは変わらないですし、その思いは大事にしていきたいですね。中内功さん知らない世代にもその思いは継承していきたいですし、直接に学んだ僕たちのことを見ていただき、何か感じるところがあれば良いですね。

自分の子どもたちを見ていても思うのですが、いまの学生の方が僕らの頃より真面目だなと思いますし、友達との繋がりがや絆が自然にできているような気がするんです。有朋会がこれから発展していくのではないかと期待しています。でも、大学あつての同窓会です。同窓会だけが発展しても意味がありません。大学と同窓会がともに発展していければと思います。

社会に出れば楽しいことも辛いこともたくさんありますので、母校に戻って来る時にはいろいろな思いを抱えているでしょう。その時に有朋会が、「あの時こうだったね」というシーンを分かち合えるような場であればいいと思います。

阪神・淡路大震災の復興のためにもと 額に汗して働いた日々が仕事の原点

ともよくご存じで、私の顔を見ると「烏龍茶」と声をかけてくれて、覚えていてくれているのは嬉しかったですね。

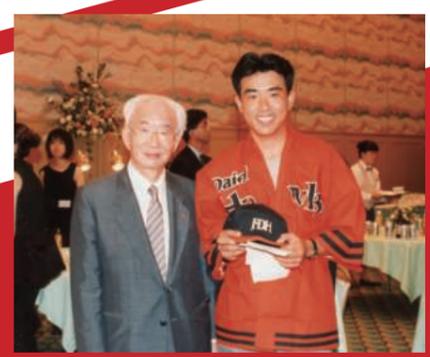
就職活動は正直、あまりうまくいかなかったですね。興味があったところにご縁がなくて。ですが、「その道で一番」の企業を希望していたこともあり、お茶で一番の伊藤園にご縁があり入社しました。当時はお金を払ってお茶を飲むという習慣はなく、現在のようなお茶を買って飲む時代になるとは思いもしなかったですね。

入社後、神戸で新規開拓の専門部署に配属されましたが、入社翌年に阪神・淡路大震災が発生したんですよ。神戸生まれ、神戸育ちだったので、仕事を通して何か役

人たちとも、そのご縁の延長で仕事に繋がっていく、といったこともありました。その後、副会長を拝命し、同窓会の運営業務のお手伝いや、行事のサポートやイベントの企画などいろいろなことをやってきたように思います。

当時は支部を立ち上げていくタイミングで、それにもいろいろ関わっていましたね。九州支部の集まりに参加させていただいたのですが、福岡ドームの二室を借りてダイエーホークス戦を観戦しながら同窓生と交流をしたり、また、台湾支部の立ち上げの時に現地を訪問したことなどは思い出深いですね。

1期生の岩崎さんが会長を退任するとき



大学創設者 中内功さん 生誕100年記念

～中内功さんが私たちに伝えてくれたこと～



1988年第1期生入学式

流通科学大学の創設者である中内功さん。2022年8月2日、生誕100年を迎えました。生前キャンパス内でどのように私たちに接し、教壇に立ち、社会に送り出していたのか。当時の貴重な写真とともに振り返ります。

講義



1994年理事長講義

本当の「実学」とは流通革命を成し遂げるには、長い年月と同時に多数の有為（ゆうい）なる人材が必要である。そのような人材を輩出することが、この大学の目的である。「実学の場」としての流通科学大学で学んだ人々が、この国の、そして世界の国々の流通に貢献し、より豊かな社会を実現すること、それが私の夢である。

（『日本教育新聞』1988年3月13日より）



1994年理事長講義終了後の交流



未来と出会う場

まず大学とはどういうところか。私は、大学とは皆様が「自分自身の未来と出会う場所」だと考えています。そういう意味では、まず、この4年間でしっかりと自分の未来を見つけていただくことをお願いします。将来、どんな自分になっているのか、80歳代の自分から78歳、68歳と逆算して計画し、今の18歳がどういう位置にあるのかということを常に考えていただきたいと思います。自分の人生行動の最終到達点はどこにあるか、そこから逆算して今何をすべきかということを考えてください。（2004年度入学式訓話より）



2000年有朋会東日本支部懇親会



1996年学園祭実行委員会OB会設立

交流

キャンパス内、さまざまな場面で学生と交流をされました。



学園祭での交流



1998年ソフトボール大会始球式



理事長への学生プレゼン



1998年学生討論会

卒業

一人一人と力強く握手をして、私たちが社会へ送り出してくれました。

from Rijichoのメッセージ

No.594 卒業式が終った 1999.3.25
5,000人以上のOBが実社会で活躍している。実学の精神を身につけた「ノレッジ・ワーカー」として。「英語」と「パソコン」を駆使して、日本中、アジア中、世界中。そのようなOBにいたるところで再会できることを楽しみにしている。一人一人、握手をして送り出した人々。私と50年、半世紀の年齢差のある若者。二十一世紀の日本を！アジアを！



1998年度卒業式

日新信用金庫

明石を中心に阪神から東播にかけて36店舗を展開する地域密着型の歴史ある金融機関、日新信用金庫では多くの同窓生が働いています。



ネアカのびのびと「お客様第一主義」実践中!

現在は、人事部で採用担当をしています。就職後、神戸や明石にある5つの支店(宇治川支店、大久保支店、玉津支店、本店営業部、神栄支店)と本部の3部署(経営管理部、コンプライアンス室、財務部)で勤務してきました。金融業界は志望していなかったのですが、就職活動をするうち、地域の金融機関にも興味を持ち、地元、明石の日新信用金庫に就職しました。アットホームな雰囲気、仕事しやすいと思うようになりました。就職して24年、仕事で壁にぶつかったこともありましたが、いろんな経験ができたからこそ、いまは本気で面白い仕事ができているのだと思います。ありがたいですね。

学生時代はさまざまな事にチャレンジをしました。初めての一人旅で海外へ行くなど貴重な経験もできました。流科大の校風に影響されたのかもしれない。印象深い授業はリテイル・マネジメント論です。中内功さんがホワイトボードに大きく「人・モノ・カネ」と書いていたことを覚えています。信用金庫のお客様は個人の方や中小企業が中心なので、学んだことは、いまの仕事につながっている気がします。中内功さんはちょっと近寄りたいたいオーラがありました。レストランで著書にサインをお願いしたら、その場で「生涯学習」と書いてくれました。その本はいまでも大切にしています。

多くの同窓生が活躍中！働きやすい環境でやりがいも
採用担当として見ると、流科大生は個性的で自由度が高い感じがします。仕事柄、就職部など母校に行くことがあるのですが、仕事以外でも年に何度か恩師の福田先生のゼミ室に訪問したりと、先生とはいまでも交流をさせていただいています。そんなつながりを持てる良い学校ですので、他の大学に埋もれないよう、私たち同窓生が頑張って流科大の魅力を生かしていききたいですね。

「日新」は60名ほどの流科大同窓生が活躍中で、支店長経験者もいます。学生時代からいろんな経験をしているからなのでしょう、みんな個性的でよいキャラクターなんです。自分から前に出てくる感じではないですけど、しっかりと責任をもって仕事は頑張りますし、柔軟性もあって協力的です。OBの会社とかはないので学閥という感じではありませんが、お互い仲良くやっていますね。

日新信用金庫は、創業101年の歴史があります。金融機関は夜遅くまで動くようなイメージですけど、「日新」は帰宅時間なども含めて、比較的自分のペースで仕事ができる環境です。仕事もプライベートも充実させることができます。店舗も兵庫県にあるので、遠方への転勤もなく腰を据え安心して働くことができます。そして何より、仕事を通じ地域へ貢献できるので、とてもやりがいを感じます。

PERSON



融資課
玉田 真由さん
(旧姓：土見)
2015年3月
商学部商学科卒
東利一ゼミ

「日新」の融資課で、査定や事務処理などを担当しています。金融業界を目指して就職活動したのですが、人事部の方がフランクで、雰囲気の良いなと思って「日新」に決めました。小さな子どもがいるのですが、出産や育児に理解があり、育休も快く認めてくれます。子どもが急に熱を出しても、上司も同僚も「早く行ってあげて」と協力的です。職場と自宅が近いので、安心して働けますね。

もともとチャレンジ精神が旺盛なので、学生時代には海外リテール研修に参加してアメリカへ行ったり、課外活動で学部の垣根を超えて交流したりと、いろいろなことに挑戦しました。大学では、さまざまな活動や経験を通じて物事を多角的な視点から見ることを学び、それは仕事に役立っていると感じます。同期の友達とはいまも仲が良く、毎年「女子会」を開催して会っているんですよ。

PERSON



渉外課 係長
河野 充範さん
2012年3月
商学部流通学科卒
山下貴子ゼミ

外回り営業で明石から東灘のお客様を担当しています。金融機関はお堅いイメージですが、「日新」では日態依然という感じではなく、若い人目線でフォローしてくれますし働きやすいですよ。同窓生も多く、「え！君も流科大？」みたいなノリですぐに親しくなります。

課題解決のお手伝いをさせていただくため、何を求められているのかを常に意識し、お客様に寄り添ったご提案ができよう心がけています。学生時代から人と関わることが好きで、積極的に幅広い年代の方々とコミュニケーションをとってきましたが、それがいまの仕事の基礎になっています。一番の思い出はオーストラリアへ留学して、いろいろな文化に接したことです。いまでも同期との繋がりは大切にしていますが、今後は母校の行事などにも参加してみたいと思います。

COMPANY PROFILE

日新信用金庫

- 本店 〒673-0892 兵庫県明石市本町2-3-20
- 設立 1921年2月18日
- 役員員数 590名(非常勤役員を除く)
- 同窓生 63名勤務(10月31日現在)
- 営業地区 神戸市・明石市・三木市・西宮市・芦屋市・加古川市・高砂市・小野市・西脇市(旧西脇市に限る)・三田市・加西市・姫路市(旧姫路市に限る)・加東市・洲本市(旧洲本市に限る)・淡路市(旧淡路町・旧東浦町・旧北淡町・旧津名町に限る)・尼崎市・伊丹市・宝塚市・加古郡





特集展示コーナーでは
見応えのある
懐かしの写真がずらり!

やっぱり大人気!
ガチャ大抽選会

中内功さんパネルと
一緒に記念撮影!



3年ぶりに母校に集う ホームカミングデー 2022開催!



流通科学大学の同窓生が、年に一度大学に帰ってくる日「ホームカミングデー」。この2年間はコロナ禍の影響でオンラインイベントのみとなっていたのですが、今年は3年ぶりに8月6日(土)に大学で開催することができました。

今回は人が密集しないよう懇親会などは中止とし、代わりに写真パネルなどの展示が中心となりました。パネル展示は30周年を迎える同窓会の歩みや大学の歴史が紹介され、多くの方が興味深そうに観覧していました。リアルだからこそ味わえる「母校の空気」を実感することができました。

その他会場では、スタンプラリーや抽選くじの入ったガチャ大抽選会企画を実施。スタンプを集めて、抽選くじの入ったガチャを回す。お子さんだけではなく、大人も久しぶりに「ちょっとしたワクワク感」を楽しんでいました。記念撮影ブースでは中内功氏の等身大パネルが設置され、大学の風景パネルを背景に「功さんと握手」する写真が撮れる場所となっていました。

コロナ禍でまだまだ制限のある中ではありましたが、大学にて開催が実現できました。オンラインにも良さはありますが、やはり「母校の空気を感じる」ことはホームカミングデーの大きな醍醐味と言えます。また来年はさらに多くの同窓生に集って頂けるよう、取り組んで参ります。

ホームカミングデーの企画・運営に参加しました!



高村 信希さん
2014年3月
情報学部
経営情報学科卒
23期生

卒業後から同窓会運営のお手伝いをしている、現在は東日本支部の支部長をしています。有朋会では、年齢も業界も違う同窓生の方々と会える機会も多く、仕事やプライベートのことなどいろんな話ができて、とても有意義な時間を過ごしています! 今後も幅広い年代の方々に参加してもらえる企画を考えていきたいと思っています。



黒田 樹さん
2018年3月
商学部
商学科卒
27期生

同年代の同窓生の参加が増えるきっかけになればと参加しています。私自身、幅広い年代の同窓生の方と交流でき、仕事やプライベートでとてもプラスになっていると感じています。卒業後も教職員の方々や先輩後輩ともつながりを持ってもらえるのも嬉しいです。この楽しさをもっと知っていただけるようこれからも活動していきたいですね。



阪本 彩華さん
2019年3月
人間社会学部
人間社会学科卒
28期生

学園祭実行委員会に所属していたご縁で、卒業後は同窓会運営のお手伝いをしています。有朋会に参加していると多くの方と出会い、いろんな業界の話も聞けて知見が広がります。自分のペースでお手伝いできるのでこれからも続けていきたいです。有朋会のインスタも担当しているので「フォロー」「いいね」をぜひお願いします!

研究

「起業」するために大事な3つのポイント

自分らしい働き方の一つとして注目されている「起業」。今回は、創業・起業家育成を専門分野として研究されている岡田先生に、起業について教えていただきました。

モチベーションを高めよう

起業したいなと思っていても、実際に行動に移す人は少ないのですよね。なぜ踏み出せないのかを調査すると、うまくいくかどうか不安、家族に反対される、失敗したらどうしよう、と未来に対するネガティブな感情が拳がってきます。また、資金がないという理由も多いですね。

でも、不安よりもやりたいという思いが勝てばやれるのです。できない、わからないという不安は、どんなに打ち消そうと思ってもゼロにはなりませんよね。それよりも前向きな気持ちが出すことができる。そのためにも関心があるところに向かってモチベーションを高め、行動



商学部経営学科 講師
岡田 恵実先生
教養特講Ⅱ(起業・事業承継)
経営学入門・中小企業論

していただくことが大切です。

いまは補助金や融資のほか、オンラインの相談窓口など、起業を後押しする制度が史上最大級にあります。起業後の経理業務もハードルでしたが、最近はクラウド会計ソフトがあり手間がかからなくなるなど、ここ数年でずいぶん挑戦しやすい環境になってきています。自分のスキルを活かすフィールドとして、例えば「ココナラ」や物販なら「BASE」のようなプラットフォームを活用して、副業的なことを始めてみることもできます。

起業に不可欠なWILL

例えば、会社に勤めながら、自分のやりたいことをやりたい、新しいことに挑戦したいとモヤモヤ

している方も多いと思うんですが、それはなぜかと振り返ることが大切ですね。そこに問題意識があつて、それを実際に形にしてみたいというのが、一番の起業の種になります。

起業は、WILLがないとうまくいきません。WILLとはまず、対象に誰にどんな価値を提供するかが具体化されていることです。ニーズが細分化されている時代、そのフォーカスの狭さと解像度の高さが求められます。もう一つは、ジブンゴトであることです。自分がやりたい、自分が解決したいという「自分」という主観軸があることが大切です。自分の原体験や経験を大きく膨らませることも大切ですが、もしそれがなかったとしても、アクションを重ねているうちに積み上がってくるので、まずは行動することです。

つまり、自分の関心や問題意識に対しジブンゴトとして動いていき、対象と提供する価値を具体化していくこと。WILLが、自分が成し遂げたいことに繋がっているだけでなく、困難を乗り越える時の拠り所にもなります。

いきなり起業は難しい...という場合でも、関心があることに行動して、それを繋ぎ合わせていくこ

とでWILLが明確になってきます。そのため副業やボランティアなどの形でトライする(始める)のも一つのやり方です。

ビジネスに同窓会の絆を

すでに起業し、行き詰まっている方は、絶対に一人で抱え込まないことです。一人で考えているとどうしてもネガティブになりがちです。しかし、俯瞰する目線を持つほかの人から自分にはない選択肢が出てくるかもしれませんし、助けしてくれる人を紹介してくれるかもしれません。つまり、じっと耐えるより相談することです。動かなければ何も変わりません。ビジネスをしていると他人に弱みを見せたくないと思ってしまうがちですが、そういう時代はもう終わっています。頼る、助け合うことこそ、こういう不透明な時代に必要なことなんです。

そういう意味でも、同窓会ってとっても大切な組織だと思っただけじゃなく、ネットワークの塊になることなく人間ベースで繋がります。それが、これからのビジネスで求められる価値観なのです。

講義最前線

企業論特別講義



1990年から30年以上にわたり実施されている人気のプログラム。今年も企業のトップを講師に招いての講義が開講されました。同窓生は特別講義の聴講が可能です。卒業してからもさまざまな方の話を聴き学ぶことができます。ぜひご活用ください。

ほかにも各業界の第一線で活躍する講師陣から学べる業界研究(製造業)、業界研究(健康産業)、業界研究(商社・卸)を開講しました。(年度ごとに業界は変更となります)

(聴講可能な講義の詳細は有朋会ホームページでご確認ください)

2022年度企業論特別講義講師一覧

第1回	ミズノ株式会社	代表取締役社長 水野 明人氏
第2回	イオン株式会社	執行役員社長 人事・管理担当 兼 リスクマネジメント管理 渡邊 廣之氏
第3回	富士通株式会社	執行役員 EVP CSO 梶原ゆみ子氏
第4回	株式会社リクルート	代表取締役社長 北村 吉弘氏
第5回	山崎製パン株式会社	代表取締役社長 飯島 延浩氏
第6回	住友生命保険相互会社	代表執行役員専務 日下 和彦氏
第7回	株式会社新日本科学	代表取締役会長 兼 社長 永田 良一氏
第8回	中外製薬株式会社	名誉会長 永山 治 氏
第9回	シップヘルスケア ホールディングス株式会社	代表取締役社長 大橋 太 氏
第10回	エスベック株式会社	代表取締役会長 石田 雅昭氏
第11回	株式会社みなと銀行	代表取締役社長 武市 寿一氏

学生の受講状況によって、聴講をお断りする場合もございます。あらかじめご了承ください。
※本学同窓生のみ受講可能です。同窓生以外の方は受講できません。

社会共創プログラム

洲本市×流科大



調査・研究・発表のレベルが高いと好評!

淡路島にある洲本市の住民・行政と大学が連携し、地域の活性化を図るプロジェクト。地域の活性化や「Awajishima Sodatete Market」全体のマーケティング・プロモーション・広報を洲本市に提案しました。昨年度は、5つのゼミと初年次クラスから全9チームが参加しました。フィールドワークでは、出展者へのヒアリングやマーケットの視察を通して、現場の雰囲気や体感。貼屋地区で地元の方からの説明を受けながら名所を見学しました。その後の中間発表では、さまざまなアドバイスを受け、改善すべき点やより具体的な提案が必要だと実感しました。最終発表では2年生、3年生も参加するなか最優秀賞は、1年生クラスのチームが獲得しました。

神戸メリケンパークオリエンタルホテル×流科大



学生たちが考えた2つの宿泊プランが実現!

神戸メリケンパークオリエンタルホテルがホテルを中心に地域を巻き込み、「迎える朝が楽しみ体験」を共同プロジェクト化し、宿泊後の「朝」に注目した商品を展開。あまり知られていない地域の朝の魅力をホテルを中心に掘り起こし、新しい価値体験を創造していくプロジェクト。観光学科ゼミの学生たちが、自分たちの考えたプランを実際に体験したり、プランで提供する朝食を検討・試食するなど試行錯誤しながら具体的なプランを作成し、ホテルの幹部に向け企画をプレゼンテーション。そのうち2つのプランの商品化が決定しました! ホテルのマーケティング担当者、広告代理店、学生たちでチームを編成し、取り組みました。

『業界研究』の授業で同窓生講師が現役学生に講義しました

各業界の最新情報を学ぶ授業『業界研究』は、企業のさまざまな取り組みを理解し、日本の産業への幅広い知識を養う人気のカリキュラム。同窓生が講師として登壇しました。

業界研究 (商社・卸)

廃棄物処理を通して捉えるSDGs ESG
～時代に求められるビジネスの視点～

LECTURE DAY

10/20 (木)



大栄環境株式会社
営業本部
関西営業部 次長
佐谷 幸治さん
(情報学部2003年3月卒)

環境 (E)、社会 (S)、ガバナンス (G) の頭文字をとった「ESG」がこれからの時代にいかに大切かということ、そのために大栄環境グループが今取り組んでいる施策や「持続型資源循環社会」「地域循環共生圏」の構築についてお話しいただきました。

業界研究 (健康産業)

健康産業におけるYOGA (ヨガ) の
過去・現在・未来

LECTURE DAY

10/27 (木)



株式会社オハナスマイル
代表取締役
酒造 博明さん
(商学部2000年3月卒)

広告代理店に勤務後、仲間とともに立ち上げた会社で日本初のヨガ雑誌「Yogini」を制作したのをきっかけに、現在はヨガスタジオをはじめ、ヨガに関する5つの事業を展開するまでに。その経緯やヨガへの思い、今後の取り組みなどについてお話しいただきました。

業界研究 (商社・卸)

ブランド・マーケティングについて

LECTURE DAY

11/3 (木)



ライオン株式会社
ヘルス&ホームケア事業本部
ファブリックケア事業部長
横手 弘宣さん
(商学部2000年3月卒)

ライオン最年少のブランドマネージャーに抜擢された同氏から、当時「クリニカ」をヒットさせたマーケティングの手法、ブランド・マーケティングの考え方などを詳細なデータと実例を基に教えていただきました。

業界研究 (商社・卸)

人財サービス会社と卸会社との取り組み &
地方創生を通じた 人・物・産業・文化

LECTURE DAY

11/17 (木)



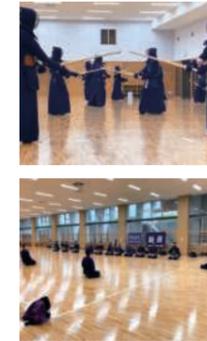
株式会社パソナロジコム
全国営業部 部長
宮崎 直樹さん
(情報学部1999年3月卒)

2008年から兵庫県淡路島で「地方創生」に挑戦し続けているパソナグループの取り組みや、真に豊かな生き方・働き方を可能とする「Smart Life Initiative」の考え方について、淡路島のプロジェクト事例とともにご紹介いただきました。

流神会 (剣道部OB会)

OBからのコメント

8月20日(土)、流通科学大学のアスレチック棟の武道場にて、夏恒例のOB会として、現役生とOBとの合同稽古会を開催しました。コロナの影響で参加者が集まるか心配していましたが、見学も含め17名ものOBが参加してくれました。参加者は6期生から29期生と幅広く、その家族も来てくれてにぎやかな稽古会になりました。中には卒業して以来23年ぶりに稽古をするOBや子どもにも剣道を見せてやりたいからというOBもいました。稽古では時には真剣に、時には笑いがもれながら皆それぞれのペースで楽しくやっていました。稽古後も疲れた一体が痛いと言ってる割に満足そうな笑顔を浮かべていました。現役生が続いていけばOBは剣道部に帰ってきてまた稽古ができるんですね。



活用しました!
(現役生支援)

アメリカンフットボール部 Voyagers OB・OG会

現役生への
支援金制度を利用して
トレーニング用ベルト・教則本の
贈呈を行いました!



男子ラクロス部OB会

現役生への
支援金制度を利用して
オリジナルヘルメットシールの
贈呈を行いました!



バスケットボール部 OB会

現役生への
支援金制度を
利用してオリジナル
ロゴ+個人番号付き
マスクの贈呈を
行いました!



クラブ・サークル・ゼミなど同窓生の会をサポート『個別同窓会』援助制度とは

制度について

同窓生同士の交流機会を増やすことで同窓生と有朋会が共に発展することを目指した、クラブ、サークル、ゼミのOB・OG会や同期会といった流通科学大学同窓生の会をサポートする制度です。

援助内容について

■個別同窓会援助内容

- (1) 個別同窓会開催案内送付の代行(往復はがき、または通常はがきによる郵送、郵送料は有朋会負担)
ただし、開催日の1ヶ月以上前に申請が必要。(年1回に限る)
- (2) 記念式典への祝電・同窓会グッズ(法被、横断幕等)の貸与
- (3) 教員の交通費・宿泊費の一部負担(個別同窓会参加費補助規定による)
- (4) 現役生を支援するための費用の一部負担(個別同窓会支援金補助規定による)

申請について

■申請資格

- 以下の条件を満たす団体であること。
有朋会会員で構成される流通科学大学同窓生の組織であり、営利・政治・宗教活動以外を目的とした10名以上の団体で、具体的には下記の(1)~(3)の団体が対象です。有朋会の認定した団体としての効力は1年間で、更新する場合は、その都度更新手続きが必要となります。
- (1) クラブ、サークル、ゼミのOB・OG会
 - (2) 卒業年次(同期会)
 - (3) その他、幹事会が認める団体

申請は規定の申請用紙に必要事項を記入の上、有朋会事務局に書類の提出をお願いします。
その他、詳細について有朋会ホームページをご覧ください。

2022年度「集まれ!同窓生」

11月12日(土)・13日(日)に行われたりゅうか祭では、コロナ禍で実施できなかった同窓生の交流スペース「集まれ!同窓生」を3年ぶりに開催しました。土曜は好天に恵まれ多くの同窓生に会場いただきました。ご家族連れでいらっしゃる方々も多く、久しぶりの語りを楽しんでおられました。



卒業生図鑑を発刊しました

有朋会では設立30周年を記念して行う事業の一環として、「卒業生図鑑」を発刊しました。活躍する同窓生を紹介した冊子で、在学生に同窓生の活躍を知ってもらうものとして活用していきます。今後も多くの同窓生を掲載していく予定です。寄稿していただく同窓生を募集していますので、詳細は有朋会ホームページをご覧ください。



留学生専用履歴書の作成を支援しました

日本での就職を希望している留学生に向けて、留学生専用の履歴書を作成することとなり、在学生支援の一環として、有朋会が履歴書の作成支援を行いました。新たに完成した留学生専用履歴書を活用して、留学生の皆さんに就職活動を頑張ってくださいと思います。



2021年度卒業式が行われました

3月17日(木)、2021年度大学院修了式・学部卒業式が神戸ポートピアホテルで行われました。2020年度は、コロナ禍の影響により二部制で行われましたが、2021年度は感染防止策を講じたうえで、2年ぶりに全学部合同での卒業式となりました。式典では、各学部・学科の代表者に、藤井啓吾学長より卒業証書と学位記が授与され、式辞として『3つのお願い』について話し、社会人としての一步を踏み出す卒業生にエールが送られました。



有朋会賞が授与されました

「流通科学大学の卒業生として「誇り」に感じられる活動を行った学生」を同窓会として表彰する「有朋会賞」。7回目となる2021年度は4名が選出され、岡本会長(中央)より表彰と記念品の授与が行われました。



左から藤本 大輝さん、莫 智翰さん、グエン チャー リンさん、盧 詩琪さん

9月卒業式が行われました

9月14日(水)、2022年度9月卒業式・大学院修了式が流通科学大学で行われ、藤井学長より学位記が卒業生一人ひとりに手渡されました。式典終了後は、お世話になった教職員とささやかな語らいの時間を過ごしていました。



有朋会「公式SNS」 同窓会と大学の「今」をお知らせ



facebook



Instagram



Twitter



LINE

有朋会

<https://www.yuho-kai.com>



在学生支援のイベントが実施されました

有朋会では在学生支援の一環として在学生を対象としたさまざまなイベントを実施しています。2021年12月7日(火)・8日(水)に行われた「しめ飾り制作体験イベント」では同窓生の岩佐美千子さん(2006年卒)、7月2日(土)に行われた「マーケティング講座」では同窓生の藤井洋三さん(2004年卒)が講師を務められました。また、6月11日(土)に開催された「ゆかた着付体験会」では同窓生の三浦芳嗣さん(1997年卒)の協力によりゆかたの着付けを体験してもらい、参加した在学生は夏の伝統衣装を楽しんでいました。



しめ飾り制作体験イベント



ゆかた着付体験会



マーケティング講座

2021年度決算

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

【収入】 (単位:円)

勘定科目	本年度	決算額	差異
前年度繰越金(資産運用委託金を含む)	421,075,478	421,075,478	0
会費収入	29,750,000	30,590,000	840,000
卒業予定者数	850名	874名	24名
受取利息収入	500	933	433
カード収入	1,500,000	1,301,302	△198,698
広告宣伝収入	150,000	50,000	△100,000
各種懇親会参加費収入	100,000	0	△100,000
雑収入	0	0	0
資産運用収入	800,000	1,185,590	385,590
前年度繰越金を除く収入計	32,300,500	33,127,825	827,325
合計	453,375,978	454,203,303	

【支出】 (単位:円)

勘定科目	本年度	決算額	差異	
備品・消耗品費	500,000	106,737	393,263	
印刷費	会報誌	2,200,000	2,190,020	9,980
	封筒・ハガキ	1,200,000	166,738	1,033,262
	その他	1,400,000	823,250	576,750
通信費	会報誌	1,400,000	1,261,645	138,355
	総会案内	1,400,000	1,260,699	139,301
	その他	1,400,000	1,180,905	219,095
会議費	200,000	108,266	91,734	
交通費(出張旅費含む)	1,500,000	395,415	1,104,585	
年間事業費	学園祭	200,000	0	200,000
	ホームページ	1,400,000	994,120	405,880
	各種イベント	5,500,000	1,560,156	3,939,844
	広告宣伝	100,000	0	100,000
人件費	1,400,000	1,200,000	200,000	
システム関連費	500,000	90,310	409,690	
卒業記念パーティー関係費	5,500,000	0	5,500,000	
慶弔費	200,000	30,000	170,000	
手数料等	100,000	41,855	58,145	
支部交流援助金・支部年間事業費	1,500,000	0	1,500,000	
個別同窓会援助費・大学助成	2,200,000	1,379,519	820,481	
カード加入促進費	100,000	7,564	92,436	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
資産運用委託金	384,000,000	337,318,327	46,681,673	
小計	414,900,000	350,115,526	64,784,474	
(資産運用委託金を除く支出計)	30,900,000	12,797,199		
繰越金	38,475,978	104,087,777		
合計	453,375,978	454,203,303		

2022年度予算について
ホームカミングデー他、各支部行事の予算については、今後の新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催ができない状況が継続される場合は、同窓会会員、在学生ならびに母校である大学への新型コロナウイルス対策に関する支援として予算を活用いたします。

2022年度予算

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

【収入】 (単位:円)

勘定科目	本年度	前年度	差異
前年度繰越金(資産運用委託金を含む)	441,406,104	421,075,478	20,330,626
会費収入	29,050,000	29,750,000	△700,000
卒業予定者数	830名	850名	△20名
受取利息収入	500	500	0
カード収入	1,500,000	1,500,000	0
広告宣伝収入	150,000	150,000	0
各種懇親会参加費収入	100,000	100,000	0
雑収入	0	0	0
資産運用収入	1,200,000	800,000	400,000
前年度繰越金を除く収入計	32,000,500	32,300,500	△300,000
合計	473,406,604	453,375,978	

【支出】 (単位:円)

勘定科目	本年度	前年度	差異	
備品・消耗品費	500,000	500,000	0	
印刷費	会報誌	2,200,000	2,200,000	0
	封筒・ハガキ	1,200,000	1,200,000	0
	その他	1,400,000	1,400,000	0
通信費	会報誌	1,400,000	1,400,000	0
	総会案内	1,400,000	1,400,000	0
	その他	1,400,000	1,400,000	0
会議費	200,000	200,000	0	
交通費(出張旅費含む)	1,500,000	1,500,000	0	
年間事業費	学園祭	200,000	200,000	0
	ホームページ	1,400,000	1,400,000	0
	各種イベント	8,500,000	5,500,000	3,000,000
	広告宣伝	100,000	100,000	0
人件費	1,400,000	1,400,000	0	
システム関連費	500,000	500,000	0	
卒業記念パーティー関係費	5,500,000	5,500,000	0	
慶弔費	200,000	200,000	0	
手数料等	100,000	100,000	0	
支部交流援助金・支部年間事業費	1,500,000	1,500,000	0	
個別同窓会援助費・大学助成	2,200,000	2,200,000	0	
カード加入促進費	100,000	100,000	0	
予備費	1,000,000	1,000,000	0	
資産運用委託金	414,000,000	384,000,000	30,000,000	
小計	447,900,000	414,900,000	33,000,000	
(資産運用委託金を除く支出計)	33,900,000	30,900,000		
繰越金	25,506,604	38,475,978		
合計	473,406,604	453,375,978		

有朋会

会長/岡本 一展 (95年3月卒 4期生)

副会長 兼 事務局長/安田 政彦 (96年3月卒 5期生)

副会長/茨木 耕司 (95年3月卒 4期生)

副会長/林 慶太郎 (01年3月卒 10期生)

副会長/藤井 洋三 (04年3月卒 13期生)

監査/岡田 茂 (95年3月卒 4期生)

監査/松岡 高史 (99年3月卒 8期生)

東日本支部

設立年月日 1995年4月26日

支部長/高村 信希 (14年3月卒 23期生)

副支部長/齊藤 弘文 (96年3月卒 5期生)

游 雅 (98年3月卒 7期生)

大和田 貴子 (08年3月卒 17期生)

黒田 樹 (18年3月卒 27期生)

中部支部

設立年月日 1997年9月13日

支部長/平田 雅輝 (94年3月卒 3期生)

大阪支部

設立年月日 2011年6月18日

支部長/船越 信行 (04年3月卒 13期生)

神戸支部

設立年月日 2011年6月18日

支部長/岩佐 美千子 (06年3月卒 15期生)

副支部長/新村 雅人 (96年3月卒 5期生)

三浦 芳嗣 (97年3月卒 6期生)

酒井 誠 (00年3月卒 9期生)

野田 健 (09年3月卒 18期生)

中四国支部

設立年月日 2006年12月9日

支部長不在のため、会長・副会長にて支部長兼務

九州支部

設立年月日 1998年10月30日

支部長/三島 一郎 (04年3月卒 13期生)

副支部長/野口 勝利 (93年3月卒 2期生)

神崎 和子 (94年3月卒 3期生)

岩谷 栄徳 (99年3月卒 8期生)

台湾支部

設立年月日 2001年9月15日

支部長/陳 玉燕 (大学院01年3月修了)

副支部長/李 宗翰 (大学院07年3月修了)

中華人民共和国(上海)支部

設立年月日 2002年10月20日

支部長/孫 偉 (01年3月卒 10期生)

副支部長/王 海明 (00年3月卒 9期生)

中華人民共和国(大連)支部

設立年月日 2019年6月1日

支部長/曲 曉娣 (大学院10年3月修了)

副支部長/金 聖亮 (大学院10年3月修了)

大韓民国支部

設立年月日 2004年7月3日

支部長/金 惠蘭 (大学院05年3月修了)

副支部長/朴 相賢 (02年3月卒 11期生)

崔 甫息 (02年3月卒 11期生)

ベトナム支部

設立年月日 2016年12月10日

支部長/グェントウイトウエット オアン (16年3月卒 25期生)

副支部長/グェン ティー チャム アン (16年3月卒 25期生)

チャン タン ヴィ (16年3月卒 25期生)

総会・見学ツアーが開催されました

5月28日(土)、2022年度の有朋会総会が約3年ぶりに流通科学大学にて開催されました。総会では、役員改選が行われ、岡本一展氏(4期生)を会長として再任いたしました。任期は3年(2025年5月)です。役員一覧は上記をご覧ください。また、2021年度の事業報告・決算報告、2022年度の予算審議などが行われました。

総会終了後、「中内功生誕100年記念事業」の一環として2021年にリニューアルされた中内功記念館やダイエー資料館の見学ツアーを実施しました。



流通科学大学が今後とも「進化し続ける大学」であるために

卒業生アンケートへのご協力をお願いいたします

学長 藤井 啓吾

本学で学んだこと、経験したことは、みなさまの卒業後のお仕事や生活にどのように活かされているでしょうか。本学では、今後とも進化を続けるために、このアンケートを通じて寄せられた卒業生の声を、本学が提供する教育プログラムの改善につなげていきたいと考えています。

つきましては、ぜひ、右の特設サイトから、ご回答をお寄せください（ご回答〆切：2023/3/31（金）まで）。
なお、ご回答内容は本学のプライバシー・ポリシーに則り厳正に管理いたしますので、卒業生のみなさまの率直なお考えをお知らせくださるようお願いいたします。



有朋会カードのご案内

有朋会カードは流通科学大学同窓生・教職員のみ持つ事ができるカードです

有朋会カードは、有朋会の会員証とSMBCファイナンスサービス株式会社との提携によるクレジットカードとしての機能を具備したものです。有朋会カードにご加入いただいている方全員の年間利用総額の0.5%が同窓会に還付され、この還付金を同窓会活動費用の一部として役立てております。（会員への負担は一切ありません。2021年度は約130万円でした）
申込資料は有朋会HPからご請求いただくことができます。
まずは有朋会事務局までお問合せください。おって資料をお送りいたします。



特典1 **もっとポイントが貯まる！**
毎日のお買い物でわくわくポイント3倍

イオン・ダイエーでの
カードショッピングご利用で、
いつでも「わくわくポイント」が3倍！
（カードショッピングご利用金額200円（税込）ごとに3ポイント）



特典2 **セディナポイントUPメール**
ネットショッピングでおトクにポイントが貯まる！

セディナポイントUPメールを
経由するとわくわくポイントが **最大20倍！**
セディナポイントUPメール 検索

有朋会カード資料の
お申込みはこちらから
も行えます。



卒業生子女入学 奨学金のご案内

2023年度流通科学大学入学者を対象に、
本学卒業生の子女が入学する場合、入学
時に30万円の奨学金が支給されます。

項目	内容
資格・要件	流通科学大学の入学試験を経て新たに入学した学生で、流通科学大学卒業生の子女に支給されます。
支給方法	給付
支給期間	入学時1回限り
金額	30万円

詳細につきましては、学生課(078-794-3552)までお問い合わせください。

住所・連絡先が変わった方へ

住所や勤務先が変わられた方、ご結婚等で名前を変えられた方は、有朋会事務局までお知らせください。ホームページより入力も可能です。

※住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物（会報誌等）が未着となりますので、必ずご連絡をお願いいたします。

ご結婚される方へ

人生の新たなスタートラインである結婚式に、有朋会より心を込めて祝電をお贈りさせていただきます。ご本人はもとよりお友達の方々、情報をお待ちしています。

※式の1ヶ月前から受付開始、1週間前までにご連絡願います。

有朋会メールマガジン

隔月～月に1回程度、メールマガジンを発行しております。交流会や勉強会などのイベント告知や、大学の近況、各種お知らせなどを案内しておりますので、ぜひご登録ください。



企画発行元

有朋会事務局

掲載内容の無断転載、複写を禁じます。

●各種お申込み・お問い合わせは、有朋会 HP・メール・電話をご利用ください

〒651-2188 神戸市西区学園西町3丁目1番

TEL:078-796-4397 FAX:078-796-4124

有朋会 HP URL <https://www.yuho-kai.com/>

E-mail: umds_yuho@red.umds.ac.jp